

## 議会改革に向けて検討を進める事項(令和3年12月16日 議会運営委員会決定事項)

### 1. 議会における自由討議の推進

自由討議は合意をつくりだす議論の場であり、問題点を多角的・複眼的に見ることができる場であることから自由討議を推進する。

ア 自由討議を推進する具体的な手続きとして、常任委員会、特別委員会において審査、決定する事項について、討論の前に自由討議による十分な討議を通じて、合意形成のための議論を進める。

イ 常任委員会（協議会）においては、政策立案、政策提言等に向けた調査・研究テーマの決定のための積極的な自由討議を行う。

#### ●実施

○予算特別委員会及び決算特別委員会の審議終了後に自由討議を実施。

（R3.9 決算特別委員会、R4.3 予算特別委員会、R4.9 決算特別委員会、R5.3 予算特別委員会）

### 2. 議会における議員研修及び政策研究の充実

ア 議会基本条例第13条第1項の規定に基づき実施する議会内部の議員研修及び政策研究（以下「研修等」という。）は、議員の政策形成能力向上のための研修と常任委員会の調査・研究テーマに基づく政策提言等のための研修とする。

イ 研修等の実施については、議会運営委員会で研修等テーマ、実施時期、講師等を決め、議員全員協議会に提案の上、決定する。その他、研修等に関する詳細事項については、議長と常任委員会委員長又は議会運営委員会委員長が議会事務局と調整を行う。

#### ●実施

##### <議員研修>

○令和4年1月14日 「環境エネルギー政策について」

講師 特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 飯田哲也 氏

○令和5年3月24日 「自治体DXに向けての取り組みについて」

講師 産業能率大学 情報マネジメント学部教授 小田 実 氏

##### <常任委員会・研究テーマ研修>

○令和3年10月1日 総務建設常任委員会「大磯町の農業について」産業観光課・農業委員会

○令和4年1月27日 総務建設常任委員会「新しい農業をはじめよう」高橋弘志 氏（農業者・東小磯）

○令和4年7月18日 福祉文教常任委員会「子ども食堂視察研修」ひまわり食堂（平塚市）

### 3. ICT化の取り組み

タブレット端末の導入について、検討を行ってきたが、費用負担や運用基準等について、課

題の整理や研究を進める必要がある。

また、庁内全体でペーパーレス化や費用対効果等について、十分な協議や調整が必要なことから、今後も必要に応じて検討を行う。

▲検討中

○チームICTを立ち上げ、意見交換を実施。ペーパーレス化も含めたタブレットPCについて、情報共有のアプリ「ラインワークス」の試行などを協議。

#### 4. 災害時における議会対応

災害時においても大磯町議会基本条例の第2条に規定する議会の使命を果たすため、災害時における議会の対応について、検討を進める。

●実施

OR4.4.15 大磯町議会災害対応基本方針、大磯町災害時対応規程を策定

OR4.6.26 町総合防災訓練時に、同規程に基づく安否確認訓練を「安否確認メールシステム」により実施

#### 5. 議会ホームページの充実

積極的に町民へ情報発信をすることによって、町民との協働のまちづくりを推進し、議会の意思決定における説明責任を果たす必要があると規定する大磯町議会基本条例に鑑み、議会ホームページにおいて、会議録検索システムを活用し情報の公開と提供に努めている。

今後も更なる議会ホームページの充実を図るため、議案及び説明資料に留まらず、常任委員会や協議会等の資料についても、ホームページ上での公開を目指し、執行者側との協議を行う。

●実施

OR4.9 から、各種委員会、同協議会資料について、議会ホームページにて公開

#### 6. 常任委員会に付託された陳情審査の見直し

付託された委員会での議事における表決の取扱いについては、「大磯町議会委員会条例」に必要な事項を定めている。本議会における表決では、これまでも採択、趣旨採択、不採択の3種類によって採決を行い、出席委員の過半数に満たない場合には比較多数により決する取扱いとしているが、採決の結果について、町民への説明責任を果たすため、趣旨採択の取扱いも含めて検討を進める。

●実施

OR5.3 議会定例会から、原則として「採択」・「不採択」の絶対多数決とする。

- ・従前の「趣旨採択」は「趣旨了承」に名称変更
- ・質疑後の討論中に「趣旨了承」の意見があった場合は、「趣旨了承」の採決を先に行う。

## 7. 予算・決算特別委員会における審査方法及び審査意見

特別委員会は、大磯町議会委員会条例に基づき、必要がある場合において議会の議決で置くこととしている。予算・決算特別委員会の重要性に鑑み、審査方法及び審査意見の提出や記載事項等について、検討を進める。

### ●実施

○予算特別委員会及び決算特別委員会にて実施した自由討議により、委員会としての意見を取りまとめ、本会議での委員長報告に委員会としての意見を添えて報告した。

※R5.3 予算特別委員会報告、R4.9 決算特別委員会報告、R3.9 決算特別委員会報告

## 8. 町民意見をさらに聴くための取り組み

町民の意見を気軽に聴くことが出来る体制を整えるため、意見交換や聴聞会等の実施について検討を進める。

### ●実施

○議会基本条例上の「一般会議」を有効に活用し、取り組みを進めていく。

- ① 一般会議の開催（募集・PR等）に当たっては、親しみやすいサブタイトル等を付けて、周知を図り運用していく。
- ② 議会から、町政等の課題に関連する団体等へ開催を投げかけていく。
- ③ 「議会報告会」のあり方を検討し、「一般会議」と合わせ、「町民意見をさらに聴くための取り組み」を充実させていく。

## 【新規】

## 9. 大磯町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例について

議員報酬は、議員が長期欠席した場合でも報酬額を減する条項がないことから、通常どおり支給されている。議員の責務と町民への説明責任を果たすために、長期欠席者の報酬減額条項について検討を行う。

また、近年、議員のなり手不足が問題となっている要因の一つとして、特に町村議会議員の報酬額の低さが挙げられているため、議員報酬のあり方についても検討する。